

家電エコポイント関連事業報告
タイ国東北部の塩類集積地における環境修復保全事業

タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政の塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。ご寄附は塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた以下の植林活動等に充てさせて頂きました。

対象期間	ご寄附金額	活動内容	写真
2009年8月～ 2010年3月	64,714円	この度ご寄附頂いた合計 64,714円（全額使用）と自己資金と合わせて、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2010年8月には350本のローズアップルなどの苗木を購入し配付致しました。同時に現地農家の要望を受け、野菜種子も配付し、有機農法による野菜づくりも推進致しました。	
2010年5月～ 2011年4月	866,517円	寄附金 866,517円（全額使用）と自己資金により、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年1月にローズアップル等の樹木 300本を植林し、塩害対策に関するパンフレット 2,000部を配布しました。同時に現地農家の要望を受け、有機農法による野菜づくりも支援しました。	
2011年5月～ 2012年9月	612,630円	寄附金 612,630円（全額使用）と自己資金とを合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年8月には現地農家より要望のあった竹等 300本を植林し、塩害対策に関するパンフレット 2,000部を配布しました。また昨年引き続き、有機農法による野菜づくりも支援しました。	

上記活動を通して、各家庭の周辺において植林や野菜づくりが広がり、現地農家の栽培意欲や土壌修復保全に取り組む意欲が向上しました。しかし塩類土壌での作物栽培は困難であるため、長期的な視野に立った持続的な農業生産環境の構築を目指して、今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。

復興支援住宅エコポイント関連事業報告 タイ国東北部の塩類集積地における環境修復保全事業

タイ国東北部では、森林伐採に伴い地下岩塩層から可溶性塩類が毛管上昇して土壌塩類化が進み、現地農家に深刻な影響を与えています。行政の塩害対策は村単位まで行き届かず、草の根支援が求められています。ご寄附は塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた以下の植林活動等に充てさせて頂きました。

対象期間	ご寄附金額	活動内容	写真
2010年5月～ 2011年4月	35,131円	寄附金35,131円（全額使用）と自己資金とを合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年1月にはアカシア等の樹木80本を植林しました。また、同時に現地農家の要望を受け、有機農法による野菜づくりも支援しました。	
2011年5月～ 2012年4月	158,626円	寄附金158,626円（全額使用）と自己資金とを合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のために、2012年8月には耐塩性樹木300本を植林し、塩害対策に関するパンフレット2,000部を配布しました。また昨年引き続き、有機農法による野菜づくりも支援しました。	
2012年5月～ 2013年4月	72,541円	寄附金72,541円（全額使用）と自己資金を合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林の為に、2013年5月には耐塩性樹木120本を植林しました。	
2013年5月～ 2014年4月	19,457円	寄附金19,457円（全額使用）と自己資金を合わせ、塩類集積地における土壌環境の修復保全に向けた植林のため、2014年10月に耐塩性樹木60本（Coconut (<i>Cocos nucifera</i>) 30本、Tamarind (<i>Tamarindus indica</i>) 30本）を植林しました。	

上記活動を通して、各家庭の周辺において植林地が広がりました。現地農家よりも感謝の声が寄せられています。塩類土壌の修復を目指して今後も現地農家と共に継続した活動に取り組んでいきます。

【復興支援住宅エコポイント寄附受領額】(2014年5月締分以降)

内容	金額
2014年8月締分(環境寄附) (2014年2月20日~2014年8月20日)	655円
2014年9月振込分 (全団体に均等に分配(バスケット)寄附されたもの)	4,016円
2015年2月締分(環境寄附) (2014年8月21日~2015年2月19日)	1,590円

上記の寄附金は「タイ東北部塩類土壌地域における持続的な農業生産環境の構築」の活動で使用されます。